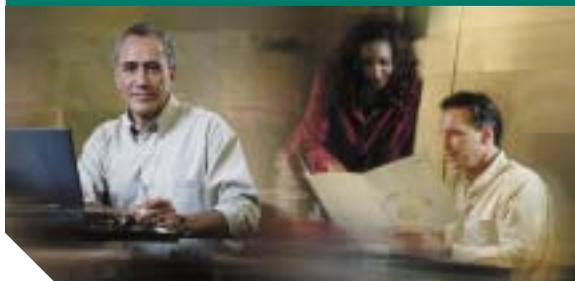


クイック リファレンス



Cisco IP Phone 7905G
(Cisco CallManager Express
3.0 版)



95070

	各部の名称	機能
1	Cisco IP Phone のモデルタイプ	ご使用の Cisco IP Phone の型番を示します。
2	LCD 画面	回線または通話の状態、電話番号、ソフトキー タブなどの情報を表示します。
3	ソフトキー	LCD 画面のタブに対応する機能を実行します。
4	ナビゲーション ボタン	LCD 画面に表示されている文字のスクロール、および機能の選択を行います。電話がアイドル状態の場合、Speed Dial メニューにショートカット アクセスします。
5	メニュー ボタン	電話サービスにアクセスします。
6	保留ボタン	アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。
7	ダイヤル ボタン	従来の電話機のダイヤルボタンと同じように機能します。
8	音量ボタン	受話器の音量、およびオンフックでの呼び出し音の音量を調節します。
9	受話器(メッセージ受信ランプ付き)	従来の受話器と同じように機能します。
10	フットスタンド	電話機本体の角度を調節します。

ソフトキー一覧

ご使用の Cisco IP Phone には、LCD 画面の下部に表示されている機能オプションに対応するソフトキーが備わっています。ソフトキーは、IP Phone の状態に応じて変化します。ソフトキーを使用して、LCD 画面のタブに対応する機能を実行します。

Cisco IP Phone 7905G で使用できるソフトキーの一覧を次に示します。機能はシステム設定によって異なります。

ソフトキー	機能
<< または >>	文字の編集をナビゲートします。
Acct	このソフトキーの使用方法については、管理者に問い合せてください。
Callback	着信側の回線が使用可能になったことを発信者に通知します。
Cancel	最後に選択した項目をキャンセルします。
CFwdALL	すべての通話を自動転送します。
Clear	ディレクトリの履歴を消去します。
Confrn	発信者を電話会議に接続します。
Delete	選択されている番号を削除します。
Dial	表示されている番号をダイヤルします。
DND	Do-Not-Disturb (DND; 着信拒否) 機能をイネーブルにします。
Down	LCD 画面のコントラストを下げます。
EditDial	番号を選択し、カーソルを動かして編集します。
EndCall	通話中の電話を切ります。
Exit	現在選択している項目を終了します。
Flash	3方向通話およびコールウェイトングのためにフックフラッシュ機能を提供します。
GPickUp	ピックアップ グループに属する電話番号に着信したコールを選択してピックアップします。
Message	ローカル ボイスメール システムにダイヤルします。
Monitor	受話器からスピーカに切り替えて、ハンズフリーで通話を聞くことができます。
Monoff	スピーカから受話器に切り替えて、通話を続けることができます。
more	次のソフトキー オプションにスクロールします (たとえば、More ソフトキーを使用して DND ソフトキーを探し出すことができます)。
Mute	消音のオンとオフを切り替えます。

ソフトキー	機能
NewCall	スピーカフォンで新しい回線を開始して、電話をかけます。
Ok	選択した項目を確認します。
PickUp	別の内線番号に着信したコールを選択してピックアップします。
Play	サンプルの呼び出し音を再生します。
Redial	最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
Resume	アクティブ コールに復帰します。
Save	最後に行った変更を保存します。
Search	ローカル ディレクトリの検索を開始します。
Select	強調表示されたオプションを選択します。
Settings	表示のコントラスト、呼び出し音の音量や種類など、IP Phone の設定に使用します。
Trnsfer	選択した通話を別の番号に転送します。
Up	LCD 画面のコントラストを上げます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

詳細情報

Cisco IP Phone の使用方法の詳細については、ご使用のシステムの管理者にお問い合わせください。

次の URL からこのカードのコピーを印刷できます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/access/ip_ph/ip_ks/its30/index.htm

他のマニュアルの発注方法については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpck/pdi.htm

電話の発信

電話をかけるには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を取り上げた後に番号をダイヤルします。
- **NewCall** ソフトキーを押して、番号をダイヤルします。
- **Redial** ソフトキーを押します。
- 受話器を置いたまま番号をダイヤルした後に、**Dial** ソフトキーを押すか、または、受話器を取り上げます。

通話の終了

通話を終了するには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を置きます。
- **EndCall** ソフトキーを押す。

通話の保留

- **保留** ボタンを押します。
- 保留中の通話を再開するには、再度**保留** ボタンを押します。

通話のミュート（消音）

- **Mute** ソフトキーを押します。
- 消音機能を解除するには、再度 **Mute** ソフトキーを押すか、または、スピーカフォンで消音機能を使用している場合は受話器を取り上げます。

コール ウェイティングの管理

- 同一回線上の通話を選択するには、**保留** ボタンを押します。

現在の通話音量の調節

- 通話中に、**音量** ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押します。

呼び出し音の音量の調節

- 受話器を置いた状態で、**音量** ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押します。

電話会議の使用

1. 通話中に、**Confrn** ソフトキーを押して新しい回線を開始し、最初の通話相手を保留にします。
2. 別の番号に電話をかけます。
3. 接続したら、再度 **Confrn** ソフトキーを押して新しい通話相手を電話会議に加えます。



(注) 電話会議の開始者が接続解除すると、電話会議は終了します。

通話の転送

選択した通話を別の番号に転送するには、2 通りの方法があります。

- **ブラインド転送**：転送受信者（通話の転送先となる人）と会話することなく即座に通話をリダイレクトします。
- **打診転送**：最初に転送受信者と会話した後に通話をリダイレクトします。

通話を転送するには

1. 通話中に、**Trnsfer** ソフトキーを押します。通話が保留になります。
2. 通話の転送先の番号をダイヤルします。
3. **ブラインド転送** を実行するには
 - 回線の呼び出し音が聞こえた時点で、受話器を置きます。打診転送を実行するには
 - 相手が応答した後に **Trnsfer** ソフトキーを押して、受話器を置きます。
4. 通話の転送をキャンセルして元の発信者に再接続するには、**保留** ボタンを押します。

すべての通話の自動転送

1. **CFwdALL** ソフトキーを押します。確認のピーブ音が鳴ります。
2. 通話の自動転送先の番号をダイヤルします。対象の番号に通話している場合でも、そこに自動転送するためにはその番号をダイヤルします。ダイヤルする際には、市内局番も含める必要があります。
3. **シャープ** キー（#）を押します。

電話の表示は、通話が自動転送されることを示す内容に更新されます。

4. 自動転送をキャンセルするには、**CFwdAll** ソフトキーを押します。



(注) **CFwdALL** ソフトキー、**メニュー** ボタン、**Messages** メニュー オプション、**EndCall** ソフトキーを順番に押すと、通話がボイスメールに自動転送されます。

ボイスメール メッセージの取得、IP Phone の設定の調節、および電話ディレクトリの使用

1. **メニュー** ボタンを押します。
2. **ナビゲーション** ボタンを使用して、オプションをスクロールします。
 - メッセージを取得する場合は **1** を押して、音声の指示に従います。
 - ディレクトリを使用する場合は **2** を押して、不在着信、着信履歴、発信履歴を表示します。
 - IP Phone の設定の場合は **3** を押して、表示のコントラスト、呼び出し音量、および呼び出し音の種類を調節します。
3. **ナビゲーション** ボタンを使用して、オプションをスクロールします。**Select** ソフトキーを使用して選択します。
4. **Exit** ソフトキーを押して、前のディレクトリ メニューに戻ります。

個人用短縮ダイヤル ボタンのプログラム

1. 利用可能な IP 電話回線（オフフックまたは **NewCall**）を選択し、ダイヤル トーンを確認します。
2. **シャープ** キー（#）を押します。
3. **メニュー** ボタンを押した後に、ダイヤル ボタンの **4** を押して **Speed Dial** を選択します。次に、**ナビゲーション** ボタンを使用して、プログラムの対象となる短縮ダイヤル ボタンを選択します。このボタンに対するプログラムの開始を確認するために、短いピーブ音が鳴ります。
4. 短縮ダイヤル番号を入力します。電話番号が画面に表示されます。誤入力した数字を消去するには、**バックスペース** ソフトキー（<<）を使用します。短縮ダイヤル番号を修正ではなく削除するには、**シャープ** キー（#）を押します。

5. 再度同じ短縮ダイヤル ボタンを押すことにより、短縮ダイヤル番号の入力を終了して、新しい短縮ダイヤル番号を登録します。

通話のピックアップの使用

別の内線番号に着信したコールをピックアップします。

1. **PickUp** ソフトキーを押します。
2. ピックアップする Cisco IP Phone の内線番号をダイヤルします。

通話の制御が自分の電話に移行します。

ピックアップ グループに属する番号に着信したコールを選択してピックアップするには、次のいずれかの方法に従います。

- **GPickUp** ソフトキーを押します。CallManager Express システム全体で1つのピックアップグループしか定義されていない場合は、通話の制御が自分の電話に移行します。
- 呼び出し音が鳴っている電話と自分の電話が同一のピックアップ グループに属している場合には、**アスタリスク**（*）を押して通話の制御を自分の電話に移行します。
- 呼び出し音が鳴っている電話と自分の電話がそれぞれ異なるピックアップ グループに属している場合には、呼び出し音が鳴っている電話のピックアップ グループ番号をダイヤルして通話の制御を自分の電話に移行します。